

インフルエンザ(2026年第8週)疫学情報

《コメント》

2026年第8週の定点当たり報告数は34.54(患者報告数131,200)となり、前週の定点当たり報告数41.44よりも減少した。都道府県別では埼玉県(50.68)、愛媛県(50.41)、大分県(45.17)、山口県(43.76)、宮崎県(43.32)、奈良県(42.95)、鹿児島県(42.95)、長崎県(42.82)、福岡県(42.75)、栃木県(42.40)、長野県(41.96)、熊本県(41.93)、千葉県(40.67)、神奈川県(40.22)の順となった。全国47都道府県中、8都道府県では前週の報告数よりも増加し、39都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は728例であり、前週(973例)から減少した。47都道府県から報告があり、年齢別では1歳未満(29例)、1～4歳(139例)、5～9歳(180例)、10代(125例)、20代(23例)、30代(38例)、40代(31例)、50代(18例)、60代(25例)、70代(52例)、80歳以上(68例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況を見ると、直近5週間(2026年第4週～2026年第8週)では、B型が240件(77%)、AH3亜型が70件(22%)、AH1pdm09が3件(1%)であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html>)を参照されたい。